

今こそ 若い力で 新しい習志野。

関根ひろゆき Report

No
63



令和七年第一回定例会
市政報告

職員の育休取得率について

Q: 職員の育児休業取得について伺う。

A: 令和5年度では、女性職員は22名中22名取得の100%。

男性職員は32名中20名取得の62.5%。

要望: 全国、千葉県と比べても男性職員の育休取得率は高くなっている。しかしながら、まだまだ100%には及ばない。

様々な事情があり、取得を選択しない職員も存在すると思うが、希望する職員に対しては、全て取得出来る様に環境整備を要望。

習志野市の保育時間

保育時間及び休所について

① 保育短時間認定の保育時間1日につき
午前8時半から午後4時半までの8時間。

② 保育標準時間認定の保育時間
午前7時から午後6時までの11時間。

育休を取得した場合、家庭での保育が可能な事や、子どもとの触れ合いの観点から、保育標準時間認定から、①の保育短時間認定となります。この決定が果たして時代に合っているのかを今回質問致しました。

保育園の育児休業対応

Q: 育休中の上の子の保育園利用について、短時間保育を認めた経緯について伺う。

A: 平成14年に厚生労働省より通知がされており、入所児童の環境の変化に留意する場合は、継続入所の取り扱いとして差し支えないとされている。

本市では、産後57日目から育児休業終了日の翌月末まで育児休業期間が延長されている。

要望: 他市においては、育休取得後でも短時間認定にならず、育休取得以前のように標準保育時間認定を継続している。また、短時間認定に切り替えがされう場合でも母体保護の観点から産後四か月以降に切り替えを行う自治体も存在する。

育休家庭をそのまま標準保育時間認定をしても、園には影響がないとも伺っている。時代のニーズに合った制度運用、子育て環境の整備をすることが子育て支援の一助となる。是非制度の改正を要望。

将来都市像

『多彩で豊かな交流が広がるまち 習志野』

基本構想は、令和8(2026)年度から令和23(2041)年度までの16年間とし、「基本計画」は、基本構想の計画期間を前期・後期に分け、それぞれ8年間としています。また、実施計画は社会の変化や市民ニーズに柔軟に対応するため、計画期間を1期当たり4年間としています。



課題① 人口構造の変化への対応

課題④ 地域経済の活力の維持・増進

課題② コンパクトで利便性の高い都市空間の維持・形成

課題⑤ 生涯にわたって人とつながり、いきいきと暮らせる社会の充実

課題③ いつまでも安全・安心で自分らしく暮らせるまちの充実

課題⑥ 持続可能なまちづくりを支える自治体経営の推進

習志野市次期基本構想への想い

習志野市は今後、総人口は令和17(2035)年頃をピークに減少局面に移行し、令和23(2041)年は17万6,042人でピーク時と比べて2,549人(1.4%)減少すると予測されています。

男女別5歳階級別人口を見ると、令和23(2041)年には、昭和46(1971)年～昭和49(1974)年に生まれた「団塊ジュニア世代」が大きな山(ボリュームゾーン)を形成するため、総人口が大きく減少するリスクは少ないものの、少子超高齢化が進展し、人口構造が大きく変化することは明らかといえます。

まだまだ全国的にも習志野市に押し寄せる少子超高齢化の波は小さいものと言えますが、今後確実に市政運営に影響を及ぼします。

その様な現状の中で、どのようなまちづくりをしていくのか。私は「**選択と集中**」、「**人への投資**」が鍵になると考えます。既存の事業の見直し、総量の圧縮を行い、歳出を削減していくことが重要です。

また、習志野市に大きな産業はなく、東京へのベッドタウンとして繁栄してきたサラリーマンのまちと言えます。地の利を生かし、いかに現役世代を多く呼び込んでいくのかを考えた時、「**子育て**」、「**教育**」へ大きく投資をしていく事が出来なければ、選ばれるまちにならず、今ある行政サービス、高齢者政策、防災政策等も衰退してしまいます。一方で、地場産業の育成を進めること、また三大学を有する地の利を生かし、「**創業・起業のまち習志野**」を目指していくことも活性化につながると考えます。

本市不変のまちづくりの理念でもある「**文教住宅都市憲章**」を守りながら、次期基本構想への建設的な意見を今後も発信していきます。

活動報告

Report 関根ひろゆき



Instagram



ホームページ

PROFILE

関根洋幸 (せきね ひろゆき)

1986年7月13日生まれ

谷津保健病院にて出生

習志野市立谷津幼稚園卒園

習志野市立谷津小学校卒業

習志野市立第一中学校卒業

習志野市立習志野高等学校卒業

亜細亜大学法学部法律学科卒業

Western Washington University留学

参議院議員事務所勤務

千葉県議会議員事務所勤務

衆議院小林鷹之公設秘書として勤務

2015年習志野市議会議員初当選

2019年二期目の当選

2023年三期目の当選



発行:関根ひろゆき後援会

習志野市谷津5-29-6

☎ & 📠 :047-779-4092

討議資料